

アルビレックス新潟 サポーターカンファレンス 議事録 (第2部_質疑応答)

---決して成功しているとは言えない WE リーグのシーズンを、J リーグは検証しているのか？

Jリーグが検討しているかということについては、WE リーグは別なので検討すべき議題ではない、という押さえ方をしています。WE リーグの理事も参加しておりますが、Jリーグでは検討外となっています。しかし、日本サッカー協会も含めて、WE リーグの課題だと捉えていると私は思います。

WE リーグのチーム数や女性の登用やサラリーキャップの設定などを議論したうえで、現在の構造が成り立っています。その是々非々について、私は意見を申し上げる立場ではないですが、そばにいる兄弟チームの課題感として、期ズレが生じるために選手やコーチの獲得といった市場の流動性が非常に難しくなっています。また、チーム数を絞ったために試合数も少ないという点があります。

それから、シーズン移行となったために冬場の試合もありますので、レディースは12月や1月も練習をしなければいけないので、県外に行くことになっています。このことから、私たちの世界でも冬場は活動できないので、県外に行って練習した経験もあります。レディースについては、リーグ戦だけでなく皇后杯もあります。試合に向かって練習するのですが、試合までの期間が長い場合もあるため、選手のモチベーションが上がりにくいこともあります。

試合では、皆さんから見て、入場者数が少ないのも含め、違う日程だから分かりづらいのか、あるいは新リーグだから発信不足なのかもしれません。いろいろな課題感はあると思っています。なでしこリーグは、4月に始まって我々と同じシーズンになっていますから、WE リーグとの期ズレがありますので、そこから選手が引き抜かれたという問題があります。あとは、試合を開催するスタジアムを抑えづらいことが挙げられます。

レディースチームの課題感は感じておりますが、私が WE リーグの是々非々を表明する立場ではありません。

---質問への答えと違います。レディースがいろいろと失敗をしているが、それを J リーグは学んでいるのかということを書いてほしい。

Jリーグとは別のリーグですので、その検証について具体的に議論の中には入っていません。

【補足：事業本部長 風間より】

シーズン移行に関する分科会のメンバーの中に、WEリーグの理事を務めていらっしゃる方がいます。しかし、WEリーグについてどのような検討状況かは、私たちに伝わってきません。JリーグとWEリーグの間で、なぜ今はこういう状況なのかを情報共有していきま

---社長にたくさんのお話を聞かせてもらったが、シーズン移行については、チームとしても反対という立場でいいのか？

いろんな検証課題はありますが、今の段階では、先ほど申し上げた反対という立場で、私は議論に参加しています。しかし、是々非々を議論している段階でないという現状であり、これからの代表者会議で是々非々の議論の場面では、申し上げたスタンスで言い続けたいと思っています。

---今後の移行についてはどのように決定されるのか。多数決なのか別の方法なのか。多数決としたら、他クラブの現状はどうなっているのか、分かっていることを教えてほしい。

もし、多数決で移行が決まるとして、賛成が多い状況であれば、クラブとしてどういうメリットを引き出せるのかに移った方がいいと思う。

流れという意味では、今は分かりません。是々非々の議論をしていないために、賛成か反対かを尋ねられていません。なので、誰が賛成で誰が反対かの議論をしていないので、誰も自分たちの意見を言えない、言わないのが現状です。

今日、設けた時間の中で自分の考えるスタンスを表明しているということです。Jリーグの60クラブの内、どなたが賛成で、どなたが反対かはまったく分かりません。

---それはいつ分かることか？8月の分科会のあとに分かることか？その後に降雪地域のクラブと協力して、反対に回る考えもあると思うが？

分科会で、いろいろな担当者の方が意見をもち寄って、そのあとに実行委員会というクラブ代表者会議、私もメンバーですが、その場で今まで検証してきたことをまた議論して、最終的には、Jリーグから皆さんいかがですかという時期が、どこかのタイミングで来るのだと思います。

Jリーグの組織的ルールとして、実行委員会が決議機関ではなく、理事会というものが決議機関なので、最終的には理事会の最終判断というのが、明文化されたルールになっています。

---理事会に働きかけないと、最終的な決定とならないということか？

理事会に働きかけてというよりも、実行委員会で議論されたことが理事会に報告されて、最終的には理事会の判断になるという形です。

---移行が決定した場合は、その後の時間も少ないはず。移行したときのための準備もしていかないといけない。考えていることを教えてほしい。

まったく移行に賛成でないので、移行しての準備というのは正直、考えていません。むしろ、会場確保の問題が日程発表後の調整なるだろうから、大変なご迷惑をおかけするだろうな、うまく調整できるのだろうかという悩みを抱えている状態です。ですから、なにか準備をすると言われても、今のところノーアイデアです。

---アルビレックス新潟の選手会はどのような考えなのか？

事実として、選手会がJリーグと向き合う状況になっています。では、アルビレックス新潟としてはどうなのかということ。本来は、先週の段階で選手たちと事実に基づいた情報共有をしようと考えていました。ところが、都合がつかなくなったために開催することができず、後日選手たちに共有しながら、選手たちの意見を聞くというよりも、考えを伝えたいです。その後に選手会として考えるべきだと思う。これが今の状況です。

---「アジアで圧倒的なリーグ」というのは、Jリーグとして一部のチームがあればいいと捉えている。残りの55チームを置いていってでも実現するというようにしか聞こえない。また、暑い8月に試合をしてブレイクを2回設けるスケジュールは、本当に選手ファーストなのか。そのあたりをリーグに対して意見したのか？

ピラミッドの中に、J3・J2・J1とあります。ACLに出るクラブが結果を出すことで、全体に光を照らしますよねという入り方をしたから、そうではないと。60クラブの競争の中で、結果を出したクラブ（ACLで結果を出すの）が、Jリーグの理念だということを申し上げた。そこから議論がスタートしていると、私は思っています。そこは明確に申し上げました。

また、暑い8月については、データがありました。暑いときの走行距離などでした。明日の試合も多分暑いです。

しかし、日程が変更となれば8月からスタートします。ただし、文言として、6月から9月までの暑い試合の数を減らすという表現自体が、申し訳ありませんが、私としてはまやかしに思えます。今年、今はもちろん暑いのですが、6月も7月も梅雨はありましたけれど、暑かったですかと。(新潟では)一度も給水タイムを取る試合がありませんでした。他の地域ではあったのかもしれませんが。あくまでも、5月に終わるための8月開催。シーズン移行の日程として抑えると、そうならざるを得ないというおき方です。

暑いときに選手が大変かどうか、それは大変です。それと、寒いときのことと比べても意味がありません。むしろ、一貫した(シーズンの)なかで、6月・7月・8月の中でサマータイムをとって夏の暑い時期の試合を調整する方が、よほど選手のために合理的なのではないかなと、私は考えています。

---降雪によって選手のリクルートにも影響が出るのではないか？

新潟は雪が降る気候が当たり前だと思っています。しかし、心配はまったくしていません。皆さんがいるから、まったく心配していません。新潟の良さは、良さであります。雪も降るかもしれません。そういったところで活躍する環境を作りたいと思っています。チームを作る方向性も模索したいと思っています。受けてくれた選手の集合体で、タイトルを取りに行きたいと思っています。まったく心配していません。

---一つは日程について、降雪期に新潟のサポーターが関東や関西に行く上で、道路状況などが心配です。仮に、新潟で試合ができるとなっても県外か来られる方が、不慣れな雪道を走ることになる。もう一つは、学生の新卒選手の問題。3月に卒業した選手が、シーズンの終盤戦ですぐに試合に出られないように思う。

総じて新潟の冬の生活について、交通機関も含めて、我々は理解しています。あるいは、気象予測でどれだけ雪が降るのだろうかなどは、すぐに分かります。アウェイの方が来づらくなるのは、事実だと思っています。

一方で、冬場に新潟サポーターが関東や他の地域に行くことも不便だと思います。雪国ならではの気象条件は、重要な問題です。やってはならないのは、試合が中止になったり、できなくなったりすること。それを言うと、台風でも中止になるではないか、という議論も働く

のですが。

我々は、雪国にいて気候を知っています。雪が降ったから試合が中止になりました。アウェイ（チームのサポーター）の方が、宿泊を予約していたとします。それは、誰も保証してくれません。WEリーグでは、アルビレックス新潟レディースが広島に行き、サポーターも行ったのに、中止になりました。こういうことがあった場合、私たちは仕事の一環なので納得しなければいけない立場かもしれません。しかし、皆さんは、自費で時間と愛情を投資してきてくださいます。これが無駄にならないように、優先的に考えるべきだと思っています。

すぐに即戦力として新卒の選手が出るか出ないかは、ケースバイケースです。今は、アカデミーの選手も、卒業していなくても試合に出るケースもあります。それ自体は、途中でチームに選手が入ってくることを想定してチーム作りをするなど、いろいろなことを前倒して調整が必要になると思います。選手が出るか出ないかというのはケースバイケースですが、学校制度が変わらないことは、事実だと思います。

---反対するクラブは少数だから、雪国クラブとして何かをしてくれれば容認するなど、そのような話し合いはあるのか？

雪国クラブ同士で、タッグを組んで反対表明するような動きはありません。状況によっては、新スタジアムの構想を持っていて、シーズン移行をした方がいいという考えのクラブがないわけではない。だから、雪が降るから反対、降らないから賛成という単純な状況ではないということも事実です。

---8月開幕、5月閉幕が固定だが、それをずらす考えはあるのか？

今のところは、8月の開幕で、5月末には終わるという案しか出てきておりません。

---反対意見を推し進めるうえで、私たちにできることはあるか？

リーグの方もいろいろなデータやアンケート、声を聞いて議論しております。皆さんのお力をお借りして署名運動をして、反対意見を持っていくことが、もしかしたらあるかもしれません。しかし、むやみに反対と言っている訳ではありませんし、皆さんもそうだと思っています。こういう状況をお互いに理解して、皆さんのお考えもいただいて議論に参加していきます。そこは、強く訴えていきたいと思っています。私たちができることは、議論の状況を正確

にお伝えすることだと思っています。それを受け止めていただいて、また意見をクラブにいただきたいと思います。そのキャッチボールの継続ということで、ご協力をお願いできればと考えております。

---結局、A案とB案のどちらになるのか。

それもこれからの議論。シーズン移行をするかしないか、するとしたらA案かB案か。どちらになるかというご質問には答えられません。先ほど申しましたように、12月のB案にしたのは、ACLやインターナショナルウィンドウ、クラブワールドカップが12月の半ば以降に入ってくるので、雪が降るか降らないかではなく、そういう関係で12月の第3週まで(試合が)できない。だからB案を出してきたのではないかと。降雪地域の問題と、海外大会の問題の2つがありますから、B案が出されたのではないかと。確認はしていませんが、そのように思っています。

**---シーズン移行した場合に、A案のシーズンがあったり、B案のシーズンがあったりする
ことはあり得るのか？**

可能性として、国際大会の日程がどの時期に収まるかなどで、変動する可能性はあります。12月4週まで大会をするとなったときに、ホームなのかアウェイなのかという選択を迫られても、できないものはできないという日程調整になると思います。

**---日本サッカー協会が、AFCにACLのシーズン移行を働きかけたと報じられているが、
事実関係を把握しているのか。**

把握していません。2017年にJリーグで移行を検討した際、降雪地域の練習環境や試合環境が改善しないなかでは、Jリーグとしてはシーズン移行をしないという抑え方。一方で、協会サイドはACLの日程が変わったら検討を再開しようと、この2つでピン止めをしたのは事実です。それで、ACLの日程が変わりますと、1つのピンが外れました。ACLに出場したチームが勝ち抜くと、チームの内容が変わる。内容が変わることは、実は私はハッピーだと思っています。(ノックアウトラウンドを戦う)権利を取ったら、強化するという手段をとることもできると思います。

問題は、中東の財力と、サッカーに対する捉え方が、非常に強くなってきています。すべてが外国籍選手の(チームの)ACL参加をOKにしようというルール変更自体が、そうい

うことを表しています。長い歴史のなかで、本当に自国の選手が強くなるのかという議論です。これは、イングランドがワールドカップに出られないときに、今のようなプレミアリーグを作ったという歴史の中でも経験がある問題です。そういう背景で、日本はどのようにするのかという問題があると思います。ご質問から外れますが、JFAが、田嶋会長がどうされたかというのは、知るすべがないというのが、事実です。しかし、日本サッカーを良くしたいという情熱をお持ちなのだと思います。